

第6回地区庶務担当理事連絡協議会

(平成30年10月24日開催分)

△報告ならびに協議事項

1. 麻薬免許更新申請について

平成30年12月31日(月)が有効期限の麻薬免許更新手続きの期限が迫っているため、更新未申請の先生方は速やかに手続きを行うよう注意を促した。

また、今回の更新手続きを行わず、麻薬業務を廃止する場合は、免許の廃止手続きが必要であると補足した。

2. 初心者医療事務講習会について

11月14日(水)から12月3日(月)の間、府医会館で計8回開催される「初心者医療事務講習会」について、多数の参加を呼びかけた。

※事前申し込みが必要。

3. レセプト記載要領の一部改正について

電子請求(オンラインまたは電子媒体による請求)を行う医療機関におけるレセプトの記載要領について、11月請求分(10月診療分)からコードによる請求が必要になるケースがあることを報告(詳細は、京都医報平成30年10月1日号「保険だより」参照)。

また、70歳以上の高齢者に係る高額療養費制度の見直しが8月1日から行われたことにもなうレセプト等の記載要領等の一部が改正されていることについても注意喚起がなされた。11月提出分までは「特記事項」欄の記載がない場合でも、「みなし扱い」がされることになったとし、これにより「特記事項」欄が未記載であっても一律返戻とせず、審査機関において柔軟に対応するよう日医から厚労省に要請していることを説明した。

4. 最近の中央情勢について

9月下旬から10月中旬にかけての社会・医療保険状況について、16年度国民医療費は0.5%減の42兆1381億円となり、2006年度以来の減少となったこと、厚労省において「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」の初会合が開かれ、医師の働き方改革にもつながるよう、医療のかかり方に関する情報収集やコンテンツの整理、効果的な広報のあり方などの議論が行われたこと、財政審の消費税議論において、横倉日医会長が「補填の過不足に対応する認識」の欠如を指摘したことなどを説明した。

5. 京都市胃がん検診(胃内視鏡検査)一般二次読影方式の開始について

本年11月1日から、120医療機関(10月15日現在)で京都市胃がん検診(胃内視鏡検査)が本格的に稼働することを報告。オンラインによる二次読影システムを導入し、二次読影医がオンラインで集約された内視鏡所見と画像を自院で読影できると説明した。

6. 医療安全に関するアンケート調査の実施について

今後の医療安全対策向上に役立てるために、11月30日（金）を回答期限として、医療安全に関するアンケート調査を行うことを報告し、会員の協力を求めた。

7. 日医かかりつけ医機能研修制度平成30年度DVD研修会の開催について

11月18日（日）に府医師会館にて、日医かかりつけ医機能研修制度DVD研修会を開催することを紹介し、多数の参加を呼びかけた。

8. 学術講演会の今後の予定について

11月に予定している府医学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。